

a 学校教育目標	「なりたい自分」に向かって切磋琢磨する子供の育成 —自ら伸びる とともに伸びる—	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 主体的に思考・判断・表現し、夢に向かって行動できる子供の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 「自ら伸びる とともに伸びる」 目標に向かって切磋琢磨する姿のある学校 ・主体的・対話的で深い学びをめざす子供 ・誇りとやりがいをもち学び高め合う教職員 ・挑戦・失敗を評価し応援する保護者・地域
----------	---	----------------------	--

評価計画					自己評価					改善方針	学校関係者評価			
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力	基礎学力の確かな定着を実現する。	・帯タイムの更なる効果的活用 ①習熟度別・少人数指導の継続実施 → 全教職員参加！「みんなの伸びが分かる」指導と評価の工夫	国語科・算数科・理科の単元末テスト結果(各学期) 標準学力調査結果(12月実施)	各学期各教科 知識・技能 平均85点以上 思考・判断・表現 平均75点以上 全国平均以上										
	主体的・対話的で深い学びを進める力、自己決定力、思考力・表現力を育成する。	・「3つの『たい』話」のある授業づくりの徹底 → 児童の考えを深める発問 ①「やりたい」課題設定の場 ②「話したい・聞きたい」思考・表現の場 ③「もっと伸びたい」R80によるふり返りの場の充実	教職員アンケートによる評価 「児童の思考が深まる発問をしている」「ふり返りで『伸び』を自覚できる工夫をしている」 児童アンケートによる評価 「自分の考えを自分の言葉でみんなに説明している」「授業の終わりには自分の考えが深まっている」	各項目肯定的評価 80%以上										
豊かな心の育成	自他を愛し共感する力、思いやりの心、協力し合う態度を育成する。	・「自己決定の場」を大切にしたい学びづくりの推進 ① 特別活動の改善と充実 ②生活科・総合的な学習の時間での「本物」の交流・発信の実施 → 「社会を変える体験」の実現	教職員アンケートによる評価 「学習や生活で子どもたち自身で自己決定する場面を設定している」 児童アンケートによる評価 「自分にはよいところがある」「学習や生活で自分・自分たちで考え決める場面が増えている」	各項目肯定的評価 80%以上										
	生涯にわたる健康に対する高い意識を育て、体力の向上を図る。	「運動は楽しい」「やれば伸びる」「もっとしたい」という主体的態度を育成する。	・「ともに伸びたくなる環境設定」のある体育科授業・体育的行事の推進 ①「サーキットトレーニング」の充実 ②「低中高合同体育」の実施 → 異学年間の学びの充実	教職員アンケートによる評価 「課題意識と体力の向上に繋がる導入の工夫をしている」「『低中高合同体育』を通して異学年間の学びを充実させている」 児童アンケートによる評価 「体育の授業や友達と運動することが楽しい」	各項目肯定的評価 80%以上									
働き方改善	新たな教育課題等に適切に対応できる学校体制を構築し、教育の質の向上を図る。	・コミュニティ・スクールを活用した「ふるさと学習」の推進 ①「ふるさと学習」の改善・刷新 → 校内担当者・地域学校協働活動推進員の連携強化	学校運営協議会委員・保護者による評価 「校内担当者・地域学校協働活動推進員の連携強化によって「ふるさと学習」の改善・刷新が進んでいる」 児童アンケートによる評価 「ふるさとにはよいところがある」	各項目肯定的評価 80%以上										
	働き方改善	教職員が健康でいきいきとやりがいもち勤務できる環境づくりを推進する。	・全教職員による教育ビジョン策定・確認会議の計画的実施 ①取組を理解し合う「確認会議」の定期的実施 → 「働きがい」↑「困り感」↓に繋げる「認め合い」の充実	「三原市立学校の教育職員に関する業務上管理・健康確保措置実施計画」の達成 ストレスチェック「働きがい」肯定的回答70%以上	100%達成									

【j:自己評価 評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

【l:学校関係者評価 評価】
イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。
ハ:分からない。